

## 成果の説明書

(氏名) 佐藤 徹	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>A. 教育</p> <p>(1) 政策科学 (前期)</p> <p>政策科学の登場と歴史的背景、政策分析の手法に加え、最近の EBPM の動向についてもできるかぎり具体的なテーマや事例を数多く取り上げ、政策科学の意義と本質について受講生自身が考えるように工夫した。また、受講生がすすんで発言しやすい環境づくりに努め、双方向型の授業となるように工夫した。</p> <p>(2) 行政学 (前期)</p> <p>行政学の基礎理論を修得するとともに、政府や自治体の最新情報にも言及し、現実の行政にも関心が持てるように講じた。受講生がすすんで発言しやすい環境づくりに努め、双方向型の授業となるように工夫した。</p> <p>(3) 基礎演習 (後期)</p> <p>ゼミ生全員で行政学・公共政策・地方自治に関する基本書をもとに、基礎的知識の修得をめざした。単なる輪読ではなく、ワールド・カフェ方式によるグループ討論をおこなった。また、ゼミ生どうしの親睦や交流を深めることに努めた。</p> <p>(4) 政策評価論 (後期)</p> <p>政策評価に関する基礎理論について講じるとともに、政府および自治体における政策評価や EBPM の最新動向や具体例を取り上げながら、受講生が政策を評価する際の視角や能力を養えるように努めた。</p> <p>(5) 演習 I (通年)</p> <p>ゼミ生たちが議論を通じて共通の研究テーマを探索・検討するとともに、関連文献・資料の調査を行い、収集した情報の整理分析に取り組めるよう指導した。具体的には、公共政策における政策手段に関する文献サーベイを行うとともに、群馬県榛東村への訪問調査を行い、学生たちが現実の施策・事業に対する理解を深められるように工夫した。また、第1回卒論進捗報告会を開催した。</p> <p>(6) 演習 II (通年)・卒論指導</p> <p>ゼミ生たちが先行研究の検討整理や自治体へのインタビュー調査等を行ったり、アンケート調査結果をもとに統計分析を行ったりして、各人のテーマに沿った質の高い卒業論文が執筆できるよう指導した。</p> <p>(7) 政策評価特論 (大学院修士課程)</p> <p>政策評価に関する理論と実際についてバランスよく講じるとともに、受講生の理解がさらに深まるよう、議論を重視した授業を展開した。</p> <p>(8) 政策評価特別演習 (大学院博士課程)</p> <p>博士後期課程院生へ、学術調査や学会発表に向けた助言を行うとともに、学会誌への論文投稿についても指導した。</p> <p>B. 研究</p> <p>(1) 著書・論文等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 「自治体職員は『地域リーダー』になり得るかー公務外の地域貢献活動に至るプロセスとそのメカニズムの分析」『地域を変革するリーダーシップの展開ー現代の地域リーダー像』高崎経済大学地域科学研究所編 (担当:分担執筆), 日本経済評論社、2025年3月</li></ul>	

- ・ 佐藤徹「巻頭言：今こそ「創造型政策評価」への転換を」『季刊 評価クォーターリー』(69), 2024年4月, 行政管理研究センター
- ・ 茂垣諭, 佐藤徹「鹿嶋市におけるロジックモデルを活用した重点事業の推進—試行錯誤のロジックモデル導入・活用戦略」『季刊評価クォーターリー』(70), pp.40-53, 2024年7月, 行政管理研究センター
- ・ 佐藤徹「シン・自治体評価—形骸化した行政評価からいかに脱皮を図るか」『日本評価研究』24(2), pp.63-77, 2024年9月, 日本評価学会
- ・ 佐藤徹「EBPM推進における『土壌』と『種』のアナロジー—論理的思考とデータ活用の相互作用による政策形成—」『自治大学校からの情報発信』(39), pp.1-4, 2024年11月, 総務省自治大学校
- ・ 佐藤徹, 飯島明宏, 森田稔, 山本芳弘, 山本匡毅『大学のサステナビリティ経営に関する研究—「脱炭素化」を中心に』, 2024年11月 (研究奨励費研究成果)
- ・ 佐藤徹「自治体における統計データ活用の視点と手法—地域課題の解決に向けたEBPMの実践と展望」『都市問題』第116巻3号(2025年3月号), pp. 80-90, 公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所

#### (2) 学会・研究会報告

- ・ 佐藤徹「まちづくりワークショップにおいて自治意識が向上した参加者はいつどこでどのような学びや気づきを得たのか—データ分析から会話分析へのインターフェイス」、日本地域政策学会 2024年度 第23回 全国研究【京都】大会、龍谷大学、2024年7月6日
- ・ 北川公啓, 佐藤徹「地区社会福祉協議会の事務局体制と住民参加手法の研究—全国の市区社会福祉協議会職員対象の調査を基に—」、日本地域政策学会 2024年度 第23回 全国研究【京都】大会、龍谷大学、2024年7月6日
- ・ 佐藤徹「まちづくりワークショップにおいて自治意識が向上した参加者はいつどこでどのような学びや気づきを得たのか」、日本ミニ・パブリックス研究フォーラム オンライン研究会、2024年10月17日
- ・ 佐藤徹「公共施設マネジメントと合意形成—公共施設の複合化に関する政策過程の分析—」日本地方自治学会、北九州市立大学、2024年11月10日

#### (3) 学会活動

- ・ 日本協働政策学会の理事、地方行政実務学会の理事・監事などを務めた。各種学会や研究誌の論文査読をおこなった。
- ・ 日本地域政策学会のプロジェクト研究「まちづくりにおける話し合い研究プロジェクト：市民参加型話し合いについての混合型研究」を共同研究者とともに遂行した。

#### (4) その他

- ・ コメンテーター、第7回地域経営セミナー「自治体のEBPM—ロジックモデルとデータ分析を中心に—」、高崎経済大学地域科学研究所主催、高崎経済大学図書館ホール、2024年12月6日

### C. 社会貢献

#### (1) 公職等

- ・ 内閣府本府：政策評価有識者懇談会委員 (2021年5月～現在)
- ・ 総務省：地域力創造アドバイザー (2024年4月～現在)
- ・ 群馬県：行財政改革評価・推進委員会委員長 (2010年9月～現在)
- ・ 埼玉県：施策評価有識者会議委員 (2022年5月～現在)
- ・ 千葉県：総合計画の政策評価に関する有識者懇談会委員 (2010年4月～現在)

- ・ 埼玉県戸田市：外部評価委員会委員長（2011年9月～現在）
- ・ 埼玉県桶川市：協働審議会会長（2011年9月～現在）
- ・ 埼玉県上尾市：地域創生総合戦略審議会会長（2015年9月～現在）
- ・ 群馬県榛東村：EBPM アドバイザー（2024年12月～現在）
- ・ 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構：「地域医療計画の策定・評価の手法開発および支援に関する調査研究事業」アドバイザー（2024年12月～現在）

(2) 招待講演・研修講師等

- ・ エビデンスに基づく自治体政策（基礎編）、埼玉県 EBPM 研修、2024年6月6日
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、ロジックモデル研修（第5回;係長級）、2024年6月28日・29日、鹿嶋市（茨城県）
- ・ 自治体における政策企画の考え方、全国地域リーダー養成塾、2024年7月11日、一般財団法人 地域活性化センター
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、エビデンスに基づく政策形成演習、2024年7月25日・26日、上尾市（埼玉県）
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、令和6年度新任主査研修（政策形成）、2024年8月21日・22日、和歌山市職員研修所
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、政策評価演習、2024年9月12日・13日、岐阜県職員研修所
- ・ エビデンスに基づく自治体政策（応用編）、埼玉県 EBPM 研修、2024年9月19日・20日、浦和合同庁舎5階講堂
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、政策立案（EBPM）実践研修、2024年9月26日・27日、長崎市職員研修所
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、東毛4市（桐生市・太田市・みどり市・館林市）合同職員研修、2024年10月24日・25日
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、エビデンスに基づく行政計画講座、2024年11月7日・8日、広島市研修センター
- ・ 自治体政策形成の基本的視座－EBPMの時代に向けた理論と実践、福井市「政策形成能力向上研修」、2024年11月14日・15日、12月20日、2025年2月10日、福井市役所
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、岐阜県市町村振興協会「政策形成講座」（第1回）、2024年11月21日・22日
- ・ ロジックモデルによる政策立案・評価、専門実務課程「事業推進のためのデータ活用」、2024年12月10日・13日、市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、岐阜県市町村振興協会「政策形成講座」（第2回目）、2025年1月23日・24日
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、「政策企画」研修、2025年1月28日、2月4日、市町村職員中央研修所(市町村アカデミー)
- ・ エビデンスに基づく自治体政策、岐阜県市町村振興協会「政策形成講座」（第3回目）、2025年2月20日・21日
- ・ エビデンスに基づく自治体政策：EBPM時代の総合計画の推進に向けて、第7次榛東村総合計画策定にかかるEBPM推進のための研修、2025年3月17日・18日

(3) 助言指導

- ・ 「新かながわブランドデザイン」に係る有識者ヒアリングへの対応、神奈川県政策局政策部総合政策課、2024年6月10日
- ・ EBPMの推進について、群馬県知事戦略部戦略企画課、2024年7月12日
- ・ 都道府県医療計画におけるプログラム評価について、医療経済研究機構、2024年12月3日
- ・ 総合計画に係る行政評価制度のあり方等について、北上市（岩手県）企画部政策企画課、2025年1月21日
- ・ 総合計画の策定等について、厚木市（神奈川県）企画部総合計画担当課、2025年1月29日

(4) メディア報道

- ・ 「公営合葬施設設置広がる 継承の負担減、無縁墓防止へ」、読売新聞、2024年5月21日
- ・ EBPM（エビデンスに基づく政策立案）、ラジオ高崎「ラジオ・ゼミナール」出演（放送日：2025年2月7日、2月14日）
- ・ 寄稿「創刊100号に寄せて」『とよなか環境』82(100)、2025年2月、特定非営利活動法人与よなか市民環境会議アジェンダ21

D. 学内業務

- ・ 教育研究審議会委員、地域科学研究所長として、学内業務を積極的に遂行した。また、サステナビリティ委員会脱炭素ワーキンググループ座長として、『高崎経済大学脱炭素化に関する基本理念・基本方針』の策定に従事した。

2 その他の事項

- ・ 2024年12月2日、第9回公務員志望者のためのレクチャーミーティングをゼミ生とともに企画・開催した。ゼミOBで現職の自治体職員2名（群馬県職員、高崎市職員）をゲストスピーカーとして大学に招聘し、公務員の仕事の魅力、苦勞、将来展望などについての講話をもとに、参加したゼミ生たちと質疑応答を行った。

3 次年度以降の計画・抱負

科研費研究（代表）をはじめとして、EBPM研究のさらなる推進と論文執筆に向けて精力的に取り組みたい。また、学部及び大学院における教育指導に、より一層、注力したい。